５月　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年5月6日

大里中学校

学校教育目標

　〇ともに学ぶ生徒　 〇こころ豊かな生徒　 〇ともに鍛える生徒

**「３減運動」** 　　　 **増やします！**

・テレビの時間　　　　　・家族との会話

・ゲームの時間　　　　　・読書の時間

・携帯電話や　　　　　　・予習復習の時間

パソコンの時間

**熊谷の子どもたちは、これができます！**

 「生きる力」= 学力・体力・やる気

　 ○朝ごはんをしっかり食べる。

 ○呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。

 ○「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。

 ○友だちをたくさんつくる。

前期人権学習講話

「人権感覚と相手を思いやる行動」

４月２５日の全校朝会で人権について話しました。

〇「いじめ」について問われれば、誰もが「よくないこと」と答えると思います。しかし、現実には、友達に悪口を言ってしまったり、自分ではそのつもりはなくても相手を傷つける言葉を言ってしまったりすることがあると思います。「頭では理解している」が、言ってしまったことやおこなってしまったこと、そのことが「よくないこと」と気づける感覚を磨いてください。

　私が浦和に通勤していたころ、駅前で福祉の大切さについて訴えている方がいました。しかし、その方は足元の「視覚障碍者誘導ブロック（点字ブロック）」の上で話していました。頭では理解していても、「これはよくない」、「少しおかしい？」と気づける感覚が大切です。私も、「そこは点字ブロックの上ですよ」と伝えられなかったのですが

　朝会の前に各学級の様子を見て回りました。３年生の生徒が廊下で友達と話をしていたのですが、「ここにたまっていたら邪魔になるよね」とすっと教室に入っていきました。「人権感覚」が育っていると感じました。

　朝会のため、体育館に向かっているとき、体育館入口がせまく並んで入場している生徒の一人が、友達を先に通らせるため、すっと道を空けていました。ここでも、「人権感覚」が育っていると感じました。

「おかしい」、「ちょっと変かな」と気づくことを大切に、

何気ない「優しさ」「思いやり」の行動を大切に

ちょっと相手のことを気にかけて行動できると、お互いに気持ちよく生活することができます。そうすることで、「いじめ」や「差別」などがなくなり、人権を大切にする社会になると思います。前期人権週間は終わりましたが、これからも「人権感覚」と「人を思いやる気持ち」を大切に生活してください。